



2025年9月号
第38号

地域支え合い推進員だより

◆令和7年度6圏域こまき山体操代表者等交流会を開催しました◆

7月14日にふれあいセンターにて、令和7年度6圏域こまき山体操代表者等交流会を開催しました。この交流会は、市内6圏域のこまき山体操で活動いただいている代表者やボランティアの方々の交流や情報交換を目的としています。

今回は、小牧市役所健康生きがい推進課による講話と意見交換会を主に行いました。講話では、「健康な地域づくりに向けてー小牧市の健康課題やフレイル対策についてー」をお話いただきました。日頃活動いただいているこまき山体操が、地域の方々の健康づくりを担っていることを改めて感じていただけた内容となっていました。



講話の様子

交流会では、活動内容や他の圏域の方に聞いてみたいことなど、自由に意見交換をしていただきました。皆さん「笑顔で帰っていただく」「ボランティアも楽しく」を心がけながら活動されているとのことでした。こまき山体操以外で取り組んでいることでは、様々な脳トレや体操などを取り入れ、皆さんに楽しんでいただけたよう工夫されていました。

参加者の方からは、「とても熱心に活動されている方が多く、刺激になりました」などのご感想をいただきました。これからも活動いただいている皆さんとともに、こまき山体操を通して介護予防の取り組みを推進していきたいと思ひます。



交流会の様子

◆地域で活躍する企業の方へ、インタビューVOL.7◆

地域支え合い推進員は、様々な企業と連携して支え合いのまちづくりをしています。地域貢献をしている企業をみなさんに知ってもらいたいと思い、小牧市で地域貢献活動をされている企業を紹介しています。今回は、今年の7月より子ども食堂へ野菜提供を開始した、丸太運輸(株)と(株)ゆうちょ銀行についてご紹介します。

丸太運輸(株)

丸太運輸(株)は、「ソーシャルファーム わーくはびねす農園 あいち小牧第2」で野菜作りを始めて3年ほどになります。これまでできた野菜は社員の方々へ還元していましたが、農場スタッフが手をかけて作った野菜が地域で役に立ち、多くの方に食べてもらえる機会が増えることで農場スタッフのモチベーションアップに繋がればという思いから、子ども食堂への提供を始められました。

丸太運輸 株 農場スタッフの皆さんと
地域こども食堂∞無限堂∞上田さん



地域こども食堂∞無限堂∞にて
提供いただいたトマトと枝豆を使用

子ども食堂へ提供する野菜の種類は、農場スタッフが考え、作っています。自分たちが作った野菜を待っていてくれる人たちがいることは、仕事の励みになっているそうです。

農場長の坂牧さんは、子ども食堂への提供を通して「農場で作った野菜により、子ども達が苦手な野菜を食べられるきっかけになれば嬉しい」「スタッフのさらなる成長に繋がれば」とお話しくださいました。

(株)ゆうちょ銀行

(株)ゆうちょ銀行は、昨年3月から障がいのある方が安心して活躍できることを目指し「ゆうちょ農園」を開園しました。地域に根差した金融機関を目指し、地域の皆さまに貢献したいという思いが、子ども食堂への野菜の提供に繋がりました。地域の皆さまに貢献できるということで、スタッフの皆さんにとっても嬉しい出来事になっているとのことでした。

(株)ゆうちょ銀行の皆さん
きゅうりとピーマンを提供いただき
ました！



子ども食堂へ提供をする際には、葉の表裏の状況を観察し虫の被害防止に努めるなど、少しでも美味しい野菜ができるように様々な作業を着実にを行うことを心掛けているそうです。

総務部の加藤さんからは、「色々な野菜を提供できるよう頑張りますので、美味しく召し上がっていただくと嬉しいです」とお言葉をいただきました。



キッチンカー子供食堂ルポにて

